

5月30日 CVV 定例会議事要旨

日時：2024年5月30日(木) 午後5時20分から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者（順不同・敬称略）：31名（会員・会友）

古田・川谷・青木・宇野・神吉・辻本・今岡・大井・原・古川・野坂・友廣・鈴木巖・鈴木威・夏秋・田中・石原・栗田・下土居・武・串田・先本・坂東・祝・吉岡・齋木・清水・高田・一ノ瀬・荒武・黒山

オブザーバー参加：小瀬川氏、小柳氏、菅氏（地盤工学会関西支部）

<定例会資料>

- ① 3月6日定例会議事要旨
- ② 「シビル・ベテランズ&ボランティアズ」活動状況（8）
- ③ 2024年度 CVV いきいき（学童支援）活動状況（鈴木巖）
- ④ 技術継承 WG 打合せメモ（夏秋・吉岡）

<総会資料（参考）>

- ・ 2024年度 CVV 総会資料
- ・ 2023年度 CVV 会計報告、監査報告書

<総会での主な議事>

総会において、今後の定例会にかかわる議事内容は以下のとおり。

1. 駅前ビルロッカーに保管していた資料の明細、現在の状況を次回定例会で提示する。（担当：黒山）
2. 阪神高速関連の助成金の募集状況を確認する。（担当：高田、鈴木巖）
3. 担当グループ分けについて
新規会員は自身の興味に応じて順次グループに加わっていく。

<定例会での主な議事>

2024年度 CVV 総会に引き続いて定例会を実施した。まず、黒山が資料確認した。また、川谷幹事長が前回定例会の議事要旨（資料①）を確認した。その後の議事は以下のとおり。

1. 今年度の関西土木工学交流発表会への投稿・発表について（川谷）
奈良市周辺の土木遺産の調査結果を中心に表記発表会に投稿、発表していただきたいと思っている。
2. CVV2024年度いきいき活動状況について（鈴木巖）
資料③に基づいて、2024年度のいきいき活動状況を紹介した。実施日は財団と調整済みであるが、今後各小学校に訪問し具体的な内容を打ち合わせする予定。参加メンバーは以下の予定。必要なキットは準備できている。
大江小(7/20)：南荘、下土居、鈴木(威)、祝、石原、鈴木(巖)
大池小(8/17)：下土居、鈴木(威)、一ノ瀬、祝、石原、鈴木(巖)、黒山
晴明丘小(12/21)：野坂、下土居、一ノ瀬、祝、石原、鈴木(巖)、黒山
3. 技術継承 WG の打ち合わせ内容について（夏秋、吉岡）
資料④に基づいて WG 内で打ち合わせた内容を紹介した。その後の協議内容は以下のとおり。
・ 橋建協の部会で提案（CVV メンバーによる経験談等の話題提供と意見交換）したが反応はな

- かった。新メンバーに「CVVの男たち・・・」の原稿作成を依頼する。(夏秋)
- ・ 出身母体へ秋ごろ協議に行く予定。そのためには資料の充実が必要だと思う。(原)
→「CVVの男たち・・・」ではだめか。(川谷)
→全員の経歴書(どんなことを経験してきたか、若手に何を伝えたいかなどを記述)が必要では。(黒山)
→いくつかの団体を訪問(御用聞き)したが、CVVメンバーが何をできるかをしっかり伝えきれていないので機会を作れなかった。(友廣)
 - ・ 講演したリストや論文リストだけでは相手に理解が進まないのでは。新たな観点でメンバーの経歴書を作成したいと考えるのでWG内で協議して案を作る。(夏秋)
4. 地盤工学会関西支部第15回若手セミナー協力依頼に関する協議(小瀬川)
今年度の若手セミナー担当の幹事団(小柳氏、菅氏)が紹介された。今年度は古川会員と鈴木(威)会員が講師役を務めることになった。
5. 今年度の具体的な活動について
今年度の活動内容を協議した。内容は以下のとおり。
- ・ 一般の方々に土木を知ってもらうことを主たる目的としてCVVの活動紹介するセミナーを開催しては。出版は難しい。今すぐではなくてもよいがその準備を今年度から始めてはいかがか。(古田)
 - ・ ニーズの把握が必要。ホームページでテーマ等を募集しては。(高田)
 - ・ ニーズ把握は重要だが、押しかけ的に無理やり始めないと進まない。(古田)
 - ・ 土木学会関西支部の土木カフェを利用できないか。(栗田)
 - ・ 地元自治体の広報誌に記事を寄稿する、セミナー開催を告知する、などができないか。(祝)
 - ・ 市民見学会をCVV主催で開催したい。(石原)
 - ・ 以前協力したぶらりウォークは継続しているのか。(川谷)
→継続している。現在でも土木施設が対象になっているコースもある。(黒山)
 - ・ 外国人向けにネット上(SNS中心で目に届くように)で情報発信して有料ツアーを実施しては。(古田)
 - ・ 土木専門家が案内する民間観光ツアー(道頓堀クルーズ等)もある。(栗田)
 - ・ 「CVVが外に出る」を目標にしたい。(古田)
 - ・ 「まいまい大阪(京都)」や「大阪あそび」といった街歩きのグループ・活動がある。(黒山)
 - ・ 来年阪神淡路大震災から30年になるので何か企画できないか。(大井)
→阪神高速OBの方は震災資料館(保管庫)でボランティアとして活動されているのでは。旧道路公団(NEXCO)もあるのではないか。(川谷)
→資料は残っている。体系的には整理できていないのでOBで取り組みを始めているところ。(吉岡)
→業務でかかわった方が多いのでシンポジウム開催のテーマとなるかもしれない。(石原)
→他団体で開催される可能性もある。(大井)
 - ・ 定例会で個人が得意とする分野で話題提供し、それを皆で聞いて市民、若手技術者、学生等に説明する際の注意点等をアドバイスする、説明内容をブラッシュアップする場とすることを提案したい。(今岡)
 - ・ 上記今岡氏からの提案に関し、次回定例会で昨年の奈良での土木遺産調査の総括的な報告をお願いできないか。(川谷)
→内容をHPで読んで理解したうえで、質問や疑問に答えることはできる。内容すべてを報告

することには抵抗がある。(清水)

→市民、若手技術者、学生等に説明する際の資料作成、発表のトレーニングと考えてほしい。

(夏秋、栗田、川谷)

6. その他

- ・ 新規加入の一ノ瀬伯子ルイザ氏が挨拶された。
- ・ 次回は7月16日(火)に開催する。その後、会場の都合で7月17日(水)に変更。

文責：黒山